

# めだかの学校だより

令和2年5月1日  
第108号

学舎：周智郡森町一宮  
「一宮総合センター」  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL:0539-62-6691

## 校長訓話

第一〇八回 校長 芦川 和美

「笑顔」

今回、発生した未知のウイルスによる感染症が、世界中に広がり、甚大な負の影響を与えることになるなど、いったい誰が想像したのでしょうか。感染は、すさまじい数を超え世界中に広がり、各国は対応に苦慮しています。新型コロナウイルスはその正体が不明で：私たちは見えない恐怖に不安を抱えていると思います。

コロナウイルスは、私たち人間が、健康で健全な生活習慣や働き方、生き方を思い出すため、世界に蔓延したのかも？贅沢じゃなくても、大切な家族と、笑顔で食べ心身を育むための神殿であるホーム（家）で、ゆっくりと過ごし、一日の疲れをぐっすり熟睡して回復させ「朝だ☆」とパット目覚める生活が出来る幸せ、本来の人間としての生き方を見直すメッセージを携えて地球にやって来たんじゃないかなって感じています。

恐れや不安に飲み込まれるんじゃない

なくて、希望と朗らかな心を保って笑顔で働いて。戦いをしかけるんじゃないで、調和と平和を求めて接して。したら、コロナは役目を終えて、バイバイ！って帰って行くような気がしています。

そして、物事はすべて波で成り立っていて、エネルギーが高い時と低い時が繰り返されているといえます。『30年周期説』というのをご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、明治以降の日本を見ると、およそ30年の周期で政治や経済等の変動期がありました。「世」という字は、漢字の「十」を3つ合わせた形から「30年」「長い時間の流れ」を意味するといわれています。それに照らすと今年が30年の年に当たります。

しかし、この良い変動の波に乗れるかは個々の「心の在り方」が重要なのだと思っっています。過去、日本では戦後の混乱やバブル崩壊等、



「大好きな海」



息子が作ってくれたお弁当



様々な波を乗り越えてきました。政治はもちろん、個々が意識をもって冷静な判断をし、日本人としての誇りをもって今日を創り上げてきたのです。これから日本はどうなるのか？先が見えない状況ほど不安なものはありません。

「予測不能な状態」「混沌とした経済環境」を指す言葉「VUCA(ブーカ)」。現代な時こそ気持ちを明るく持ち、正しく恐れ、笑顔を絶やさず、皆で一緒に必ずこの波を乗り越えていきましょう！1日も早く新型コロナウイルスが終息し、平穏な世の中に戻り、皆さんに逢えることを心より祈念しております。

## めだかの学校伝言板

第108回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／芦川和美

教頭／村松達雄（森町）

用務員／大杉昌弘

給食係／大久保陽・村木謙弐・石野省三・中村やす代

牧野久子・大谷香代子・山中幸子・水野忠義

今村純子・植田美智子・平野きよ子

渡辺三ツ子(チーフ)

※お手伝いできる人はぜひお早めにお出かけを！

<学舎>静岡県周智郡森町一宮「一宮総合センター」

TEL:0538-89-7730 (開校日のみ)

開校日／令和2年6月5日(金) PM 6:20(受付)～  
受付／大場敬子・大橋町代・小林成彦・榊原幸雄(後見人)

27期通年テーマ：『平成から令和へ、紡ぎ紡いで27年！』  
今回のテーマ：<<食物連鎖・生物の多様性とは…  
新型コロナウイルスは？>>

<時間割>

- 1時間目 社会科 早川裕康 先生  
「伝統食材と町おこしへの想いとは…」
- 2時間目 家庭科 今村純子 先生  
「旬を食するおかあさんの百年ごはん」
- 3時間目 理科 長谷川智 先生  
「丘浅次郎の知恵とは…」
- 給食の時間 三方原ジャガと甘々娘ご膳? 9:30 閉校

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■好奇心少年爺の感性で 再びの賑わい計画

知る人は知る、知らない人は知らない。日本三大美女づくりの温泉が、大井川鉄道の千頭駅から、バスで二十分程の所にある。南アルプスの前衛の山々に囲まれて『山懐』と呼ぶ形容詞は、寸又峡のためにあるのではと思われる静寂の温泉郷。

以前、県のシンクタンクSRIからの依頼で活性化に取り組んだ。地域の特性を生かして和紙を素材にした灯り創作品の全国コンクールを開催して、11年目を迎えた。

それに続く第二弾の取り組みとして『こりやく温泉・寸又峡』のコンセプトで、温泉郷内の十数ヶ所に、こりやくを戴けるパワースポットを設けて、お祈り処づくりを進めている。その第1号『親子愛情力エル像』の建立に至った。

親による幼児虐待が社会問題化している折、親と子の愛情について一石を投じたかった。ついでに「失くした物が手許にカエル」「無事にカエル」おまけに「愛が再びカエル」つい悪ノリして「逃げた女房がカエル」と。

是非、一度寸又峡を訪れ



温泉街に親子愛情力エル像

パワースポットのシンボルに

て。ひっくりカエル。

(清水湊 花井孝メダカ)

### ■第18回全国まちづくり交流会 in馬路村は来年に延期

今年の6月5日〜7日の3日間、高知県馬路村で開催予定の「全国まちづくり交流会 in馬路村」は、新型コロナウイルスの状況が見通せないこともあつて来年に延期することになりました。来年の6月、元気に再会できるといいますね。

### ■東京オリンピック・パラリンピックの関連施設に池谷農園の植物が

このところのニュースは、世界中を震撼させている新型コロナウイルスのニュースばかり。東京オリンピックもパラリンピックも来年に延期。私は緑化植物の苗木生産をしているが、そのオリンピック関連施設のプレスセンターの屋上緑化材料は全て池谷農園で育てた植物が植えこまれました。各国の選手たちの活躍の様子を母国へ情報発信するための記者たちの集う会場です。しかも当たり前に入るのでなく、屋根の上ですから、私の仕事は主役を引き立たせるための「脇役」に徹しています。本音をいえば「新国立競技場」にでも使ってくれないかなあ〜なんてちょっと期待もしてみたりなんかしたけれど充分社会の役に立っている感じ。カナ。アスリートではないが、オリンピックにこんな形で参加する方法もあるんですね。あ、そうそう、馬事公苑周辺の植物も一部、私の所のもです。

(池谷俊裕メダカ)

※2020東京オリンピックは、来年の7月23日から、パラリンピックは8月24日から決定しています。

## 『人・ひと・ヒト』だより

●掛川市の横山忠志メダカ。3月31日に掛川市役所を定年退職。4月からは掛川市の横須賀高校の用務員さん、だつて。めだかの学校では用務員から教頭に昇格したけど、開校時間に間に合わず辞退、と。同じ3月31日で森町役場を定年退職した村松達雄メダカに教頭を依頼、達ちゃんよろしくね。

●新城市の清水良文メダカ。飯田線の前身三信鉄道の三河川合から天竜峡までの区間の難路の測量と難工事をやり遂げた川村カネトさんの半生を合唱劇にした『カネト』(全27曲・一時間半)を20年間歌い続けている。カネトさんは測量技術の高さを見込まれ北海道から招かれたが、アイヌであること、高給であつたことから、同僚の作業員に妬まれ殺されかけたこともあつたが、不屈の精神でやり遂げた、だつて。11月1日(日)浜松市北区の三ヶ日文化ホールで1時間バージョンの公演を行うとのこと。20年間も歌い続ける清水メダカも凄い。

●浜松市の中村やす代メダカ。先日、一方通行の狭い駐車場を逆回りしてきた車と向かい合った時のこと、「逆走ですよ」と言ったら相手の車の助手席の女性(失礼だが私よりかなり年上)から大きな声で「クソババア」となられ、一瞬頭はポカーン、目は点。でも思ったの。彼女はきつと厳しい人生を送ってきたんだつて。(SNSもツイターもやらない私のつぶやき)高齢者のみなさん気をつけましょうね。

●磐田市の多田華メダカ(旧姓小栗)。昨年の春、磐田若者ネットワークで行った見付天神のお花見でいい方に出会い、夏の終わりに入籍、秋に挙式と怒涛の日々を過ごし、長い婚活がウソのよう、あつという

間にお嫁さんに!。少しずつ生活に慣れてきたが、夜気持ちよく出掛けられるようになるまで出席できませんが継続よろしく!だつて。おめでとつ!赤い糸のご縁の面白さ。独身の男性諸君、あなたにも赤い糸はある。きくとある。あきらめないでね。

●浜松市の加藤ひとみメダカ。3月の浜松シテイマラソンに小雨の中、参加。無事に2時間22分で完走しました、だつて。おばあちゃんランナー凄いです。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。地域活性化センター発行の情報誌1月号に掲載された水島加寿代さんの記事素晴らしい。めだかの学校の本質を見事に言い表してくれている。さすがレポーター、嬉しかったよ、だつて。

●横浜市の山根圭二メダカ。第107回めだかの便りありがとうございます。ここに至つてもはや高校ではない、大学生(堂々たる4年生)ですネエ。学長訓話、高田正人学長、このような人材を育てられた「めだかの学校」。万歳、バンザイ、スゴイです。27年間泳ぎ回るめだか情報誌、水島加寿代メダカの投稿記事をいじって掻い摘んで書かれたとのこと、かすよメダカ飛び上がって喜んでいらつしやることとござんしよう。さてと、この107号、一段とオンナメダカが増えてらつしやるんですネエ。人間社会と全く同じく何が原因なんでござんしよう、だつて。デイサービス、くまさん、誕生日会の写真もそえて。ちやめつけいっばい笑顔も。いいですな。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。昨年佐久間、水窪地区で本屋さんを閉店しました。地元で本の発注をしていたので大変残念です、だつて。先般、静岡駅前の大型本専門店が閉店。それだけ本離れがすすんでいるのでしょうか。面白いのにねえ。

●磐田市の村田徳治メダカ。2013年から放送を開始した「遠州WebTV」、この3月で終了した。だって。企画から準備放送まで、多くのめだか生も出演、協力。お疲れさまでした。次はどんなことを…楽しみしています。

●森町の太田康雄メダカ。森町の町長選、無投票で再選される。改めて責任の重さを実感しています。早速3月議会が始まり、新年度予算を提案。2期目ですのでスタートからマニフェストを実行していきたい。だって。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、町としてもイベント、会議等を自粛している最中、とも。

●森町の天野智加志メダカ。3月5、6日県文化保存会研修旅行の予定でしたが、新型コロナウイルスの関係で中止となり、ありがたいことに「めだか出席」。高齢者に要注意！だって。…なのにな。めだかの学校も急遽休校になって、「ごめんね」。

●島田市の黄瀬川はつ枝メダカ。第108回めだか春秋の原稿、突然指名でびつくり。何とか書いてみます。筆不精の私には試練です。だって。もう一人の自分探したと思って楽しんで！

●浜松市の中村明男メダカ。後期高齢者となり、先の見えだした昨今、まだまだ学ぶことの多さを一つ一つ楽しく挑戦し、身近な人の手助けを心掛けていきたい。いいねえ。さすが中村ちゃん、英ちゃん農園のサツマさんの植え付けから収穫のコンテナ運びまで頼みますね。エツ、もうやってみる？いやー嬉しいね。

●浜松市の古橋利雄メダカ。4月になれば暇を持て余すようになるので、浜名湖遊覧に行きましよう。話題になったダイアモンドプリンセスはダイアナ王妃やヘップバーン、キャサリン妃も乗った船で、私達夫婦も昨年11月にお世話になった、だっ

て。人混みにはマスクと思っても何時も忘れて行く次第。ボケの前兆でしょうか、と。いや、みんな同じようなものです。とにかくコロナウイルスにはかからないようにしましよう。浜名湖の潮風を浴びて！ハイ。

●浜松の蜂須賀千賀子メダカ。世の中はザワザワして多難な年になるのでしょうか。色々なインフレーションに一喜一憂しながら日々過ごしています。不安をかかえながらも仕事ができるのは感謝です。時間を活用できるようになれたら出席できるかな。だって。千賀子メダカ、浜松市蜷塚のうなぎ屋の女将。美味しいうなぎ屋さんを評判。うーん、食べたうなぎなア。

●守山市の草苗由美子メダカ。昨年3月、兄の都合で浜松の実家が無くなりました。大きな作品があることで長男が私のフォロワーをしてくれるようになり、そのおかげで動きが変わってきました。だって。良かったね。今度はどこで展覧会をするのかな。それにしても早く新型コロナウイルス禍が終息するといいな。

●浜松市の城内実メダカ。ここ最近登校できず残念です。平成から令和へ時代は変わりましたが、学校は生徒の皆様のおかげで頂きたい。だって。いや、出席の可否でなく、思いがあればいつもめだか生でございますれば、ハイ。

●浜松市のうめたちあきメダカ。3月中の出演予定だったステージはほぼキャンセルになりました。一度身も心もリセットして、今後の活動プランを練ったり、詩作に励む時間にした。だって。

●浜松市の水島加寿代メダカ。地域づくりの記事ありがとう！夜の授業はなかなか参加できませんが、昼間に各地のめだかさんに会いに行きたい。だって。NPO法人「ひづるしい鎮玉」主催の『田沢城跡ウ

オーク』のコースを事前に石野省三メダカと歩いた。3月に「中日ショッパー」に掲載された紹介記事、良かった。おかげ様で参加者も多かった、と石野メダカ。

●千葉市の鈴木厚正さん。「めだかの学校だより」ありがとうございます。A4・4ページにギッシリ詰まった濃い内容、勉強になります。水島加寿代さんの紹介記事もいいですね。だって。いや、毎月編集、発行される「ITより逢いてエ」の『雑報縄文』の、手書きの内容と、編集・印刷・発送までひとりやっていらっしゃる厚正さんには励まされるばかりです。

《新人生紹介》  
●磐田市の村松康博メダカ。お酒を飲みながらお話をしたり、無農薬野菜、果物を作ったり、サロン等でゲームをしたり、脳トレ、筋トレ等の手伝いをする事、だつて。

●浜松市の白尾恂メダカ。長くコーヒー関係の仕事をしており、SBS学苑で美味しいコーヒーの淹れ方などの講師をしたり、今は全国育児介護福祉協議会の福祉サポーターをしている。だって。

●袋井市の藤田敏子メダカ。好きな言葉は、継続は力なり。錦織圭さんや山口茜さんが好きで応援している。ガーデニング、ブリザーブドフラワー、クラフトバンドを使つてのかがづくりが趣味。だって。

●森町の飯田みさ子メダカ。友人とのランチ、カラオケ、温泉が好きで、和太鼓が趣味、編み物も始めた。だって。

●浜松市の川嶋ひろ子メダカ。音楽、ダンス、旅が好きで、10年以上前に健康とボケ防止とストレス解消が目的でヤマハ音楽教室のシャンソンスクールに入って今も続けている。今は磐田市竜洋のご主人の実家が長く空き家だったのを手を入れて

「いやしの苑」をやっている、だって。

以上5人の新入生は、3月6日の第107回めだかの学校から入校、授業を受ける予定でしたが、新型コロナウイルスとなったため第108回からとなります。よろしくお願ひします。

紙面の都合で今回はこれまで…

### 《めだか春秋》

春の陽射しが柔らかに差し込み桜の花も満開になったというのに、コロナウイルスで、世界中が大パニックになってしまい、目に見えない敵に人間のもろさを感じずにはいられません。でも人類知恵ある人々の力を結集したら、きっとウイルスにも勝つことが出来るでしょうね。6月にはみんなの笑顔が見れることを願っています。

私が遠い島田からめだかの学校へなぜ出かけて行くのか？その訳を改めて考えてみました。

- ◇強制ではないのに行きたくなくなる。
  - ◇つまらなかつたら行かないと思う。
  - ◇誰も自然に声を掛けてくれる。
  - ◇仲間意識がある
  - ◇新発見がある
  - ◇事務局（バラさん）の何とも言えぬ温かなゆるーいリーダーシップ
  - ◇いつもホッコリして帰る。
- だからメダカは辞められませんが。これからもよろしくお願ひいたします。
- 喜瀬川はつ枝メダカ
- ※お知らせ  
めだか春秋はリレー形式で、第109回めだか春秋は、溝口久メダカ。

## ■「寄附

藤枝市の故横山浩史メダカの奥様貴代美さんから「めだかの学校で使ってください」と、多額の寄付を頂きました。「めだかの学校100回記念誌」を、故浩史さんの3回忌の時にみなさんにお見せすることです。うれしですね。ありがとうございます。



※トピックスは事務局だよりに譲りました

## ■事務局だより

春を彩った桜の花も、今は葉桜になっていく。季節の移ろい、自然の営みには心が和みます。それにしても新型コロナウイルスには困ったものです。多くのイベントや集まりも中止や延期。私の地域の桜まつりも中止。提灯も鯉のぼりもない自然のままの桜の風情はいいものですね。鈴木正士邸のお茶摘み&コンサートの中止は残念です。学校は春休み前から休校、今では5月半ばごろまでとか、企業もサービス業も... ニュース番組はコロナ、コロナ、コロナ...、まさに生活基盤そのものまで多大な影響を受けている。世界中を席卷して...。

さて、めだかの学校は...。第107回めだかの学校は3月6日、校長高田正人、教頭中村やす代、用務員横山忠志...、うん、3月4日の朝のこと、いつものように渡辺三ツ子給食チーフに、出席者41人と伝える。はじめ47人だったが、「主治医から...」「年をとっているの...」と

か、高田校長からは「議員の申し合わせで...」、市の職員からも...。なんやかやで出席者は新入生5人を含めた41人。

そのあと私たち夫婦は、以前に花井孝メダカから「寸又峡温泉でパワースポット『蛙の親子』の除幕式があるので泊まりを兼ねて来ない?」のお誘いを受けていたので、再度欠名簿をチェックして出かける。途中、大久保陽メダカからの問い合わせにも「やるヨ!」の返事。2時に千頭駅前待ち合わせで、寸又峡温泉の翠紅苑ホテルへ。新型コロナウイルスの影響でどこもお客さんが少ない。翠紅苑も例にもれず。夕食のあとロビーで花井ご夫妻と話している、石野省三メダカから電話。「このような状況ではめだかの学校どう?、渡辺さんもまだ食材を買っていないと言っし、うちの家内もやめた方がいいのではと言っている。バラさんの奥さんは?」。うちもやめた方が...、と言っ。「あとはバラさんにまかせ!」と。「ちよつと考えさせて」と一旦電話を切る。みんなの顔を思い描きながら揺れる心に『中止』を決断する。すぐ石野メダカと渡辺メダカに伝える。部屋に戻って携帯に登録されている出席予定者に、電話とショートメールで「中止」を伝える。残念がる人もいたが...。目が回る、疲れた。見れば9時、やめる。翌日5日、10時からの除幕式に出席、強風と小雪がちらつく中、無事終了。コーヒーでも...と言っ下さる翠紅苑ホテル会長の望月さんと花井ご夫妻に事情を説明して帰路に。2時半帰宅。ちよつと一服したあと再度名簿をチェックしながら、携帯を充電器につなげながら連絡、登録のない人には電話やFAXで...。6時にやっと思をつけた。伊藤英雄メダカから「手伝うよ」と電話いただいたが気持ちだけ頂いて、嬉しかったね。それにしても、『新型コロナウイルスは

人の心を迷わせる!?心を入れかえるように!』と言っているのかも知れません。

『まぼろしの学校』となった「第107回めだかの学校」めだか生全員が知るの、この「第108回めだかの学校だより」を見てからとなります。これもサブライズのひとつかも。デスネ。みなさんお赦しを!。

第108回めだかの学校は、新型コロナウイルスの関係で、職員会議も開かず、テーマや授業、また三役も独断と偏見で決めさせていただきました。校長、教頭、用務員の三役も含む20名の職員には手紙にてお知らせしました。ご了承ください。

第108回校長戸川和美、教頭村松達雄、用務員大杉昌弘。《テーマは植物連鎖・生物の多様性とは...、新型コロナウイルスは?》。授業は、1時間目社会「伝統食料と町おこしの想いとは...」早川裕康先生(中津川市)、2時間目家庭科「旬を食するお母さんの百年ごはん」今村純子先生(磐田市)、3時間目理科「丘浅次郎の知恵とは...」長谷川智先生(浜松市)です。多くは第107回と共通するようにしました。ただ時間割は給食時間の対面、「今日の日はさようなら」の握手してお別れはせず、閉校時間も30分はやめています。また入校時の手洗い、密接、密集は避け、周囲に迷惑をかけない程度に窓を開けるなど、制約はありますが、よろしくお願いします。マスクは必須です。第108回が『まぼろしの学校』にならないよう祈りつつ...再会を!。(事務局 バラメダカ)

## ■第28期の受付をしています。

第28期は、令和2年9月1日から令和3年8月31日までです。第108回の開校日から受付をはじめます。毎年度入校手

続きが必要です。27期は実質6月5日の第108回のめだかの学校で終わりです。入校手続きは8月31日または9月4日の第109回の開校日までにお願います。新しく入校を希望される方がいましたら事務局まで電話ください。資料と申込書を送ります。

## ■いや〜今回は間に合いました!

いつもお手伝いいたしています石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、田村進治メダカ、本島慎一郎メダカありがとうございました。バラメダカのメール挑戦続きます。まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い神原明美さんありがとうございました。

## ■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和2年8月1日予定。締切7月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙かファックスで。待ってます。メールの方は、

《mabuchi-trad@r.tnc.ne.jp》  
間瀬亮太090・5009・0986です。  
(メールの方は割付の関係もあるので「報を」)

## ■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5  
29番地20 神原幸雄方 TEL 05  
39・62・6691 (FAX同じ)  
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一  
宮3150。電話 0538・89・77  
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。  
携帯 080・1612・9130

